

・三位一体後第二十一主日 泉のほとり

今月の詩編 第百十二編

まっすぐな人には闇の中にも光が昇る

憐れみに富み、情け深く、正しい光が。



「信仰によって

ヘブライ人への手紙第一一章は、信仰とは何かについて語っている箇所です。長いので、一部だけを読みました。でも皆さんは後で全部を読んで見てください。

一節に「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです」とあります。神さまが、主イエスの十字架によってわたしたちの罪を赦し、わたしたちが神さまの子どもになれる道を拓いてくださいました。この救いを感謝し、自分のために生きてきた人生を悔い改めて洗礼を受け、主イエスのために生きようと決心した人は、神さまの子どもになります。今ここにいる皆さんは、神さまの子どもにさせていただいた人と、そうなるように招かれている人のどちらかです。

それはわたしたちの希望です。でも、神の子どもになった自分を、わたしたちはまだ見ていません。本当にそうになっているのですが、見えないのです。ただ希望を持っているだけです。その希望を持っているだけのことを、木当だと確信し、本当だと見えないことを、目で見て確かめたように受け入れることが、信仰なのです。

信じることは、愛することです。わたしたちが主イエスを信じるのは、主を愛しているからです。よく、見なければ信じない、という人がいますが、それは不可能だし、何よりもそう言っていたのでは、人を愛することはできません。

見ないで信じるのが、愛することだからです。

そのような信仰は、単に心の中だけのことでなく、その人の生き方に現れます。モーセの時代、エジプトの王さまは、助産婦に、イスラエル人の家子どもが生まれた時に、女の子なら生かしておき、男の子はすぐに殺すように命じました。彼らが強い民族になることを、恐れたのです。でも助産婦たちは王の命令に従いませんでした。神さまを畏れたからです。

主イエスによって神さまの子どもにしていただいたわたしたちは、この世においても、神さまの子どもとして生きていきます。この世の習慣が、神さまの戒めと違っていたら、この世の習慣には従わないで、神さまの戒めに従います。

それは時々問題を引き起こします。日本でも戦争中に、神さまの戒めに従い政府の指示に従わなかった人たちが、牢屋に入れられたり、殺されました。今日の箇所の後の方には、石で打ち殺されたり、のこぎりで引かれたり、剣で斬り殺された人たちの話が出てきます。

でも彼らは最も大きな恵みを受けませんでした。それは主イエスの救いです。彼らは神の子になる恵みを受けませんでした。それを受けているのは、わたしたちです。だからわたしたちが生活の中で神の子として生き抜くことが、彼らの労苦を無駄にしないことなのです。

来てください

来てください、まことの光。
来てください、永遠の命。
来てください、隠された神祕。
来てください、名も知られぬ宝。
来てください、あらゆる言葉を超えた現実。
来てください、すべての知識を超えた人格。
来てください、終わることのない喜び。
来てください、暮れることのない光。
来てください、失望に終わることのない
信仰者の憧れ。
来てください、逝きし者のよみがえり、
来てください、死者の復活。
来てください、力の方。
あなたはただあなたのご意志によって、
休むことなく全てを造り、全てを改め、
全てに変化をもたらされるのですから。
来てください、誰にも触れること、
あやつることのできない、
目に見えないお方。
来てください。
あなたは動かないようにすることが
おできになります。
しかもなお、一瞬にして

全てを動かすことができになります。
あなたは陰府に床を置く、
我らに近くいてください。
しかもなお、あなたは
天よりも高くにおられます。
来てください。

あなたの御名が我らの心を満たして、
我らの唇にのぼるまでに。
しかもなお、あなたがどなたであるかを、
我らは語ることも知りません。
来てください、

孤独な者に、唯一のお方として。
来てください。
あなたがあなたであられるゆえに、
その思いがわたしにあふれるのです。
来てください、うちひしがれた魂への慰め、
来てください、わたしの喜び、尽きぬ光。

平野克己著 「祈りのともしび」より
ストウディオオスのシメオンの祈り

今日のお知らせ

- 第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒースービスと、兩舎二階リズム室では、礼拝で受けた恵みを分かち合う「ぶどうの会」が開かれます。また兩舎二階のひまわりの部屋では、一時三五分から紫田香音楽伝道師の指導による讃美と祈りの会が開かれます。どうぞご参加ください。
- 第二礼拝後、ホールで、讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。
- 午後二時からカナルルームで二〇月の定例役員会を開きます。役員はお集まりください。
- 今週二三日（火）午後三時から、日本キリスト合同教会委員会が桜台教会で行われます。委員はご出席ください。
- 来週は桜台教会との講壇交換が行われます。第一・第二礼拝とも、桜台教会の中川寛牧師が説教をされます。
- クリスマスイブ礼拝の拡大聖歌隊を募集します。参加ご希望の方は、聖歌隊委員までご連絡下さい。練習は、一〇月二十六日金曜日から開始します。

第一礼拝 第一讃美歌

1 みかみのちか-ら-はやまを-おこし、
 2 みかみはめぐ-み-で地をみ-たして、
 3 はなも木もし-め-す、主のみ-さかえ。

うなばらをひ-ろ-げそらをつ-く-る。
 つ-く-られたも-の-をよしと-され-た。
 あまぐももか-ぜ-も主にし-たがう。

ふ-か-いち-え-に-よ-り日 はか-が-や-き
 み-よ、その-ふ-し-ぎ-はお おうみ-に-も
 す-べ-ての-も-の-み-なみむね-に-よ-り

つきはてりわ-た-りほしも-めぐ-る。
 があゆむ地-に-もおおぞ-ら-に-も
 くられまも-ら-れ、こ-こ-に-生-き-る。

1 み神の力は 山を起し、
 海原を広げ 空を渡る。
 深い知恵により 日は輝き
 月に照りわたり 星もめぐる。

2 み神はめぐみで 地を満たして、
 造られたものを よしとされた。
 見よ、その不思議は 大海にも
 わが多む地にも 大空にも。

3 花も木も示す、主のみ栄え。
 雨雲も風も 主に従う。
 すべてのもの著 みむねにより
 造られ守られ、ここに生きる。

調: 11 調: 104 拍: 2-10 速: 28

聖書の会へどうぞ

10月24日(水)

● 朝の聖書の会(10時)

「騒ぐな」

使徒20章7〜12節

黄 允浚 副牧師

● 聖書の夕べ(19時)

「墓の中へも福音が」

ルカ23章50〜56節

吉村和雄 牧師

ミニコンサート

10月25日(木) 12時30分より

ツァイオリン独奏 中川あんな

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ1番

「アタージコ」他

次週礼拝

● 第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 讃21 363番 やさしい目が

説教 「思い悩むな」

聖書 ルカ12章22〜31節

説教者 中川寛牧師(桜台教会)

● 第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 27番 286番

詩篇 112篇

説教 「あなたの罪は赦された」

聖書 ルカ7章36〜50節

説教者 中川寛牧師(桜台教会)



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 363番

やさしい目が

説教 「大いに喜びなさい」

聖書 マタイ5章1節～12節(新約P6)

司式 石川一兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池美穂子 副牧師

前奏曲「我は汝に望みをおきたり」J.S.バッハ

○讃21 363番(3面に楽譜があります)

1. み神の力は 山を起こし

海原を広げ 空を造る

深い知恵により 日は輝き

月は照りわたり 星もめぐる

2. み神はめぐみで 地を満たして

造られたものを よしとされた

見よ その不思議は 大海にも

わが歩む地にも 大空にも

3. 花も木も示す 主のみ栄え

雨雲も風も 主に従う

すべてのもの皆 みむねにより

造られ守られ ここに生きる アーメン

○教会学校生徒による讃美

「主のため」

○サクソフォンによる讃美

「さいわいなるかな」 II編 249

○やさしい目が

1. やさしいめが きよらかなめが

きょうもわたしを みていてくださる

「まっすぐにあるきなさい」とみていてくださる

2. おおきなてが あたたかいてが

きょうもわたしを ささえてくださる

「はなれずにあるきなさい」とささえてくださる

3. かぎりのない ひろいところが

きょうもわたしをまもってくださる

「やすらかにあるきなさい」とまもってくださる

アーメン

聖餐曲「アレグレット」C.P.E.バッハ

後奏曲「後奏曲ニ長調」F.メンデルゾーン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 56番 335番

詩篇 第112編(旧約P953)

説教 「神の放任の罰」

聖書 ローマ1章24節～32節(新約P274)

司式 石川一兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「おお神、まことなる神よ」J.S.バッハ

○讃美歌 56番

○サクソフォンによる讃美

「さいわいなるかな」 II編 249

○聖歌隊による讃美

「み翼のかげに」J.D.ヤナー

み翼のかげに住めば あらし荒ぶ夜にも

我らに平安みつる 主のあがないのゆえに

主の愛離れて 誰が生きられよう

み翼のかげに 平安みちる

み翼のかげをゆけば 世の試みも喜び

悪魔の方も恐れはなし 我に平安とわに

主の愛離れて 誰が生きられよう

み翼のかげに 平安

永久にみちる 平安みちる

○讃美歌 335番

聖餐曲「愛しまつるイエスよ、我らここにいまして」

S.カークワート

後奏曲「後奏曲ニ長調」F.メンデルゾーン